

資料番号	11
------	----

令和3年9月14日
課名 土木建築局住宅課
担当者 課長 川島満
内線 4163

ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業について

1 要旨・目的

ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業の実施状況等について報告する。

2 現状・背景

広島型の「適散・適集」なまちづくりの実現に向けて、地域の特性を生かしたゆとりと魅力ある居住環境の創出を図る必要がある。

3 概要

(1) 対象者

ゆとりと魅力ある居住環境の創出を図る市町等

(2) 事業内容（実施内容）

公募により選定したモデル地区において、目指すべき居住環境の将来ビジョン策定及びその実現に向け、県と市町等が連携して取り組む。

令和3年度のモデル地区は公募により東広島市鏡山，西条町下見（広島大学周辺エリア）を選定し，令和4年3月の将来ビジョン等の策定に向け，県・東広島市・広島大学で連携し，取り組みを進めている。

【モデル地区の概要（詳細は次ページ）】

項目	内容
モデル地区名	東広島市鏡山，西条町下見（広島大学周辺エリア）
取組の概要	持続可能な地方都市として、「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築により，最先端の技術を取り入れながら，イノベーションを創出し，世界から起業家や研究者が集まるまちづくりを実現する。

(3) スケジュール

令和3年5月 東広島市鏡山，西条町下見(広島大学周辺エリア)をモデル地区に選定

7月 県・東広島市・広島大学が連携して取り組む旨の確認書を締結

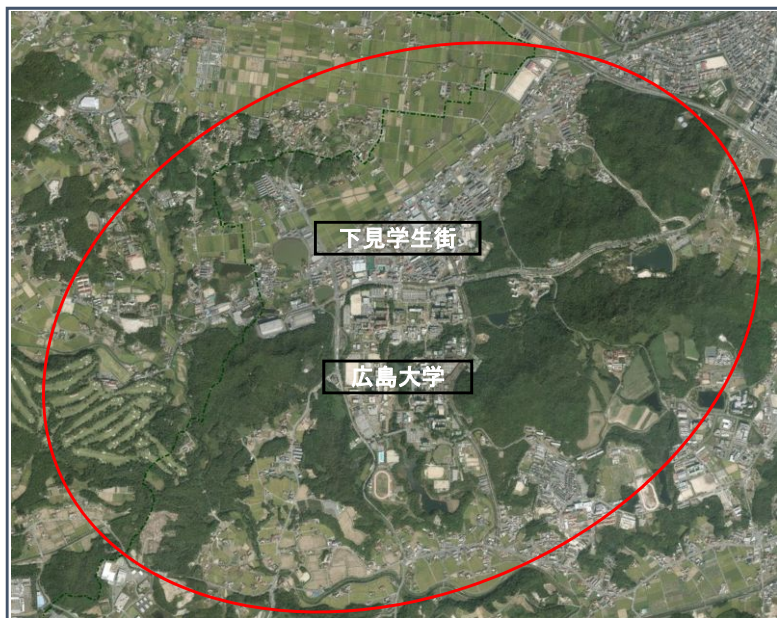
9月 「東広島市次世代学園都市構想検討会議」を設置

令和4年3月 将来ビジョンの策定

(4) 予算（国庫・単県）

8, 494千円（うち国庫4, 247千円・単県4, 247千円）

欧米の大学立地を成長につなげている成功事例を参考とした、タウン（街）とガウン（学生・教授）たちが一体となったまちづくり、持続可能な地方都市として、「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築により、最先端の技術を取り入れながら、イノベーションを創出し、世界から起業家や研究者が集まるまちづくりを実現させる。



■ 目指すべき居住環境

大学と都市がセットで選ばれるための基盤を形成することで、豊かな暮らしをするために必要な都市機能とゆとりと魅力ある居住環境を創出する。



ゆとりと魅力ある都市空間 ビジネス創出拠点

次世代交通



居住機能(ハイクラス層)

インターナショナルスクール

デジタル基盤

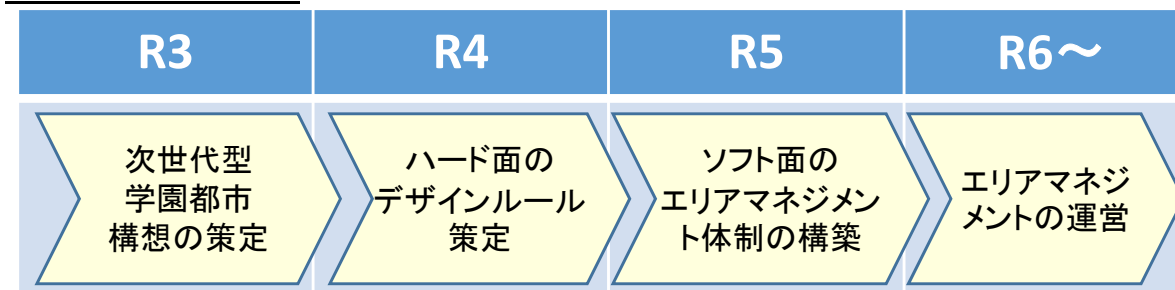
■ 実現に向けた取組予定

- ・ニーズ調査、目指すべき将来ビジョン・グランドビジョンの策定
- ・将来ビジョンの実現に向けたハード面における調整(令和4年度以降)
- ・エリアマネジメント運営などソフト面における調整(令和5年度以降)

■ 連携する関係団体

Town & Gown Office(広島大学)

■ スケジュール



■ 計画等における位置付け

第五次東広島市総合計画(地域別計画)において、「新たなテクノロジーによる次代の創造と学術・研究・国際化を先導するまち」を将来像に掲げる。

■ 地域特性・資源

- ・広島大学や広島中央サイエンスパークを始めとした知の集積地
- ・人口増加地域
- ・陸路・空路におけるアクセスの良さ

■ 地区の現況・課題

- ・大学生の定着が低調(人材の域外流出)
- ・外国からの高度人材等の住環境整備
- ・産学連携拠点の確保